

## 天下みゆき県議、仮設住宅などの改善を求め一般質問に立つ

2月県議会



一般質問に立つ天下みゆき県議

### 3月11日は街頭宣伝行動に参加しよう！

震災から1年目を迎える3月11日は、被災者に寄り添って、みんなで街頭宣伝行動に参加しましょう。当日は、女川原発を再稼働させず、原発からの撤退を進める要請署名もおこないます。多くの方の参加をお願いします。

#### 3・11 街頭宣伝行動@フォーラス前

\*日時：3月11日（日）午前11時30分～  
12時30分

\*場所：仙台フォーラス前

\*主催：東日本大震災復興支援みやぎ県民センター（宮城民医連も加盟）

#### 特別公開・東日本大震災復興支援

#### 「国宝 紅白梅図屏風とMOA美術館の名品」

3月6日(火)～3月25日(日) 仙台市博物館



2月28日、天下みゆき県議（前宮城民医連事務局長）が、2月県議会にて、仮設住宅等の環境整備などの緊急改善等について、一般質問しました。

天下県議の一般質問、村井嘉浩宮城県知事及び県の担当部長の答弁の概要（一部）は以下の通り。<文責 神馬 悟>

<天下> 仮設住宅の①水道管凍結対策 ②風呂の追いだき問題 ③孤独死とサポートセンターの役割 ④民間借り上げ住宅の延長問題について

\*県側\* ①水道管は標準装備で凍結防止ヒーターを設置、風が床下に入りやすい構造になっているために、床下防風対策をしている。進捗状況は53%で3月末までに終えたい。②風呂の追いだき機能については、新たに風呂を設置しなければならない、多額の費用がかかる。コンセントや電気容量など検証しなければならない、交換は考えていない。国の検討課題でもある。③仮設住宅で巡回訪問、健康・困りごと相談を実施。相談員については研修を開催する。業務マニュアルは市町の対応になるが、研修を充実させたい。一人暮らしの方の夜間体調の急変時の対応は、通報システム、室内ボタンで連絡できるように対応、支援したい。自治会組織は406の仮設住宅のうち237に出来ている。既存の自治会は94、準備中の仮設は71。行事への参加、住民同士の見守りも大事。

④仮設住宅・民間借り上げ住宅を含め、延長できるように国に要望していく。

<天下> 震災からの特別養護老人ホームの復旧と整備について

\*県側\* 特養の再建は、震災前の場所にとというのが原則だったが、国に要望し移転しても認められることになった。県有地については、市町と協議すべきことだが、必要に応じて無償提供も考えられる。病院や福祉施設の2重ローンについては、商工会議所で窓口は1本化。さらに検討をかさねる。福祉避難所については、実態の把握はこれからのだが、事前の指定、物資の備蓄に取り組む等、ガイドラインの見直しをする。

<天下> 消費税の10%への引き上げは震災で廃業する中小企業が増えている中で、更に廃業・倒産が増える。

\*知事\* 消費税10%は全国知事会の提言でもあり、安定的な財源であり、評価している。

日本・東洋美術における世界的コレクションを誇るMOA美術館（静岡県熱海市）からの復興支援のご厚意で、同館屈指の名品として知られる尾形光琳筆「国宝 紅白梅図屏風」が仙台で公開されます。あわせて東北地方にゆかりの深い名品も展示されます。

観覧料 一般・大学生：400円 高校生：200円 小・中学生：100円